



日本のライドシェアって、どうなっているの??

学習会

「日本型ライドシェア・公共ライドシェア」は、「地域公共交通空白」の解消に向けた取り組みです。日本型ライドシェアは、タクシー事業者の管理の下、自家用車・一般ドライバーを活用した運送サービスの提供を可能とする自家用車活用事業で、2024年3月よりスタートしました。タクシー配車アプリデータ等を活用して、タクシーが不足する地域・時期・時間帯を特定し、地域の自家用車・一般ドライバーの力を借りて補う制度で、都市部や観光地などの指定地域を中心に導入されて、始動から1年が経過しました。

また、公共ライドシェアは、地方自治体が主体となり、地域の公共交通機関の空白地帯を補完するための制度です。二制度合計で1600以上の自治体で取り組まれています。

その一方で「ライドシェアの車両を見かけたことがない」「利用したことがない」といった声も多く聞かれ。昨年末に公表された交通労働者によるアンケート調査結果などから、消費者の理解や利用は進んでいないのではないかと考えます。

そこで、学習会では、二つの制度の概要や地域の事例について、利用者の声をちりばめながら紹介し、安全性、利便性など、現状の課題とこれからの制度の方向性について、国土交通省の担当の方にお話をうかがいます。



【日 時】 8月26日(火) 14時00分～15時15分

**参加費
無料です**

〔Zoom 活用のオンライン学習会〕

【講 師】鈴木充生さん(国土交通省 物流・自動車局旅客課 課長補佐)

東海林厚史さん(国土交通省 総合政策局モビリティサービス推進課 専門官)

【定員】100人 ※事前申し込みが必要です。定員になり次第締め切ります。

【締め切り】8月22日(金)

【申し込み】

① Google フォーム <https://forms.gle/y2nofTJxKCgULy2S8>

② 事務局 yukiko.ooide@shodanren.gr.jp (大出)

参加ご希望の方は、①または②で、「団体に所属の方は団体名、お名前、メールアドレス、電話番号」「日本型ライドシェア・公共ライドシェアを利用したことはありますか」を記入の上、必ず事前にお申込みください。

※Zoom 会議の詳細は、学習会前までに申し込みの方にご連絡いたします。

〔参加用 URL〕は登録された方限りとしていただき他の方への転送はできません。

いただいた個人情報はこの学習会のみ利用させていただきます。